

赤土は「土」と言つてゐるが、火山灰である。また、木の灰とは違う。スコリアといふ黒っぽい軽石や岩石が、細かく碎けたもので、ガラスの破片みたいなものだ。

山灰も灰と言つてゐるが、木の灰とは違う。スコリアといふ黒っぽい軽石や岩石が、細かく碎けたもので、ガラス

火山灰はどんな灰

前号は、あの円錐形をした日本最高の秀麗な富士山が、何時、どのようにして生まれ、日本人の心にどう響いたのか概略を見てきた。また、富士山噴火による火山灰で、市を覆う「赤土」が誕生したこと、自然現象との関係を見てみた。

富士山の謎(2)

火山灰はガラス質

赤土は、この火山灰からできたものでガラス質と言つてもよい。細かい岩石の破片などだ。だから赤土は、泥とは違つて水をよく通し、浸水層を作る。降つた雨水はすぐ地中に吸い込まれ、その下の帶水層まで浸透してしまう。

この赤土の微妙な透水性が、霜柱を作つたり、湧水を生み出したりするのである。

霜柱は赤土にできる

まず霜柱。赤土の地表面

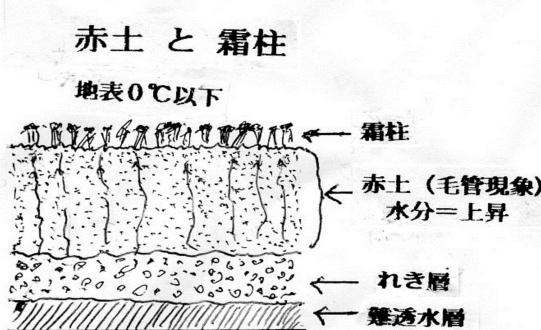
の水分は、地表が0℃以下になると凍つてしまう。だが、

春一番の赤い風

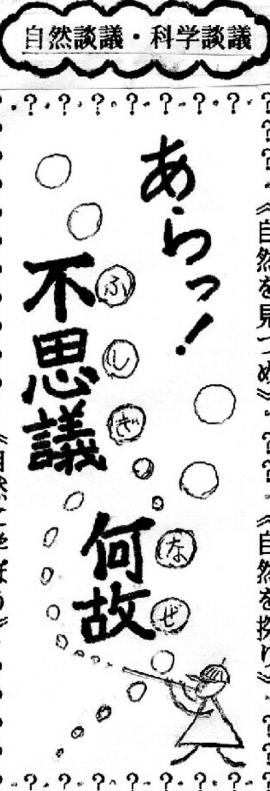
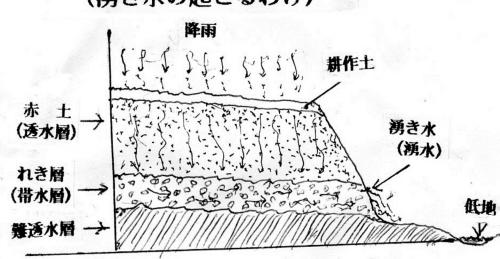
毎年、2月下旬になると、

赤土と湧き水

関東ローム層は、富士山の噴出物だけできたもので



武藏野台地と関東ローム層(湧き水の起こるわけ)



NO. 32 (通算32)

絵・文・題字 渋谷 一夫

春一番という風が吹く。赤い風ともいう。

赤土の粒子は、火山灰として、約100kmも先から飛ばされてきたものなので、粒子が細かく非常に軽い。

だから、空気が乾燥すると赤土が舞い上がる。これが赤い風だ。富士山の火山灰が関わる現象である。

5、6cmにも成長する。これが霜柱だ。だが、この現象は、寒ければどこでも起るわけではない。土壤の性質や粒子の大きさなどが関係しきでない。

粒度現象を起こす土壤が大粒度現象を起こす土壤が大事なのだ。富士山の火山灰からできた関東ローム層の「赤土」が、毛管現象を起こしやすく、霜柱の成長に最適なのである。

富士山と富士見市との関わりは、意外と多い。台地の崖に出合うと湧き水になるのである。これも富士山の恵みの一つだ。

はない。箱根火山や浅間火山・赤城火山からの噴出物も多く含まれている。だが、富士見市周辺の赤土は、富士山の火山灰が多いようだ。前述したが、赤土は透水性がある。だから、降った雨は赤土に浸透すると、地下水の帶水層にたまるか、地下水として流れ下る。それが